

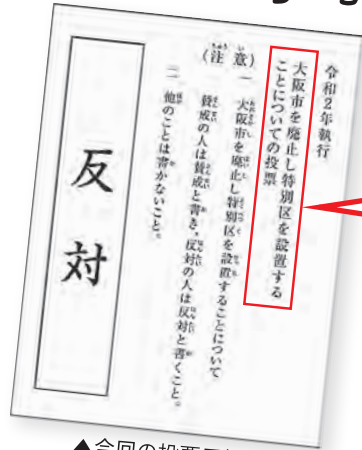


なぜ

「大阪市廃止を口ごもる」



大阪市を廃止し特別区を設置することについての投票



▲今回の投票用紙



▲区役所にかかっている垂れ幕

住民投票の最大の焦点は「大阪市廃止」の是非です。

今回の投票用紙には「大阪市を廃止し、特別区を設置することに」賛成、反対？と明記されました。

区役所にも「行こう！投票 大阪市廃止・特別区設置住民投票」と垂れ幕をかかれています。

ところが松井一郎市長は、テレビ討論でも「大阪市廃止」を口ごもります。投票用紙にも「大阪市役所の廃止」と書いてほしいと求めたものの、市選管から却下されました。維新の分厚いパンフレットのどこにも「大阪市廃止」の5文字はありません。

よほど「大阪市廃止」が知られると困るのでしょうか？

大阪市役所は維新の“中之島出張所”?!

維新のビラで驚くのは「疑問に答えます」として電話番号をのせていますが、**維新の本部ではなく、大阪市役所！**ビラには「**大阪市の職員が丁寧にお答えいたします**」！維新では疑問に答えられないのでしょうか。大阪市の職員を「市民の奉仕者」ではなく「**維新の奉仕者**」に仕立てるとは言語道断です。

公平な立場で
大阪都構想についての
?疑問に答えます
皆様のご質問はこちらまで
06-6208-8989
大阪市の職員が丁寧にお答えいたします。

維新の会ビラ

天下の台所

大阪市今昔物語 4



天満青物市場跡・市場は大川の右岸、天神橋と天満橋の間の八軒家浜の対岸で栄えました。

江戸時代の大阪を「天下の台所」と称したのは、明治末期、大阪市史編纂係主任であった寺田成友です。それを関一市長や小中学校の教科書を通じて広く流布します(平田達治『歩く大阪・読む大阪』)。「出船千艘入船千艘」「天下の貨七分は浪花にあり、浪華の貨七分は舟中にあり」の言葉が示す通り、大阪は水運に恵まれた立地条件も生かし、日本諸国の物資流通の中心地でした。堂島米市場と天満青物市場、雑喉場(ざごば)魚市場が賑わい、「天下の台所」をささげました。

いま「商都大阪」が消費税増税と新型コロナウイルスの直撃を受けています。賑わいを取り戻す決め手は庶民の懐を温めること。住民サービスを低下させる「大阪市廃止」は逆行以外の何ものでもありません。